

(別紙4(2))

事業所名 : グループホーム ぬくぬくの家・幸

作成日 : 令和 4年 10月 25日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価、及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題の焦点化が難しくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点・課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	47	服薬手順書に沿って与薬をしているが、服薬に関する必要な内容を網羅したマニュアルの整備ができていない。	服薬マニュアルを整備する。	服薬マニュアルの目的と必要性を理解し作成する。	1 か月
2	4	コロナ禍において、直近の運営推進会議よりオンライン会議を導入する等の改善に努めているが、家族や地域代表等が参加できていない状況である。	運営推進会議に家族や地域代表等が参加できるようにする。	委員の方にオンライン会議に必要な環境や操作方法を説明する。また、環境が整っていない場合やオンラインでの参加が難しい場合には、前もって配布した資料等について委員の意見を電話等で伺うなどの工夫に取り組む。	12 か月
3	6	「身体拘束適正化委員会」は、職員のみで定期的に開催しているが、同委員会では客観的な視点と知見を有する第三者の視点が求められるので、構成員を含めた運営推進会議の有効な持ち方について再検討することが望まれる。	「身体拘束適正化委員会」に第三者の客観的な視点や意見等が得られるようにする。	身体拘束適正化委員会の構成メンバーに第三者を加えるため、運営推進会議と一体的に設置・運営する。	2 か月
4	40	現在、コロナ禍で利用者と一緒に食事をしたり、調理をしたりする機会が少ない。	職員と利用者が一緒に調理や食事をする事で、利用者一人ひとりの好みや力を活かし、楽しむ環境を作る。	三食とも法人からの配食であるが、利用者にお聞きして、一品でも好きな物を利用者と一緒に作り、食事を共にする場を設ける。	12 か月

注) 項目の欄については、自己評価項目の番号を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。